

19 芸術・文化の振興			
主管課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課		
主管課長名	佐々木 淳	電話番号	042-481-7541
関係課名 (組織順)	協働推進課, 産業振興課, 環境政策課, 社会教育課, 公民館, 図書館, 郷土博物館		
目的	対象	市民	
	意図	芸術・文化に触れる機会が提供され, 芸術・文化活動が活発になる	
施策の方向	市民が芸術・文化を日常的に身近なものとして楽しみ, また, 自らいきいきと芸術・文化活動を行えるような環境を整備することにより, 文化の香り高い, 市民文化をはぐくむまちづくりを進めます。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和元年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション (①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)	
<p>(19-1 市民の芸術・文化活動の促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に基づき, 市民が芸術・文化と触れる機会の提供と自ら芸術・文化活動を行える環境づくりのため, (公財)調布市文化・コミュニティ振興財団や調布市文化協会をはじめとする市民団体, 民間事業者など多様な主体と連携しながら, 音楽や演劇など様々な事業を展開した。 (公財)調布市文化・コミュニティ振興財団では, 平成31年3月に策定した10年間の財団基本計画の初年度として, これまで以上に事業・施設・組織の緊密な連携を図る中で, 市民や地域と連携・協働しながら, 「調布国際音楽祭2019」「調布よさこい」「調布市民文化祭」「映画のまち調布 シネマフェスティバル2020」をはじめとする各種取組を展開した。 せんがわ劇場については, 令和元年度から(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団を指定管理者とする指定管理者制度導入の初年度として, 地域の大学等との連携事業等の実施, 市内の小・中学校, 福祉施設等におけるアウトリーチ事業の実施など, これまでの成果を大切に引継ぎつつ, 専門性を有する職員の配置や施設の安定的かつ効率的な管理運営, 文化施設3館の事業連携による効果的な広報など, 芸術文化の一層の発展に向けた環境づくりに取り組んだ。 	
<p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に沿った市民の芸術・文化活動の促進・支援においては, 産業, スポーツ, 国際交流, 教育, 福祉など幅広い分野との連携や地域固有の文化資源の活用を図りながら, 各種取組を展開した。 (公財)調布市文化・コミュニティ振興財団では, 文化施設3館(文化会館たづくり, グリーンホール, せんがわ劇場)に加え, 郷土博物館や武者小路実篤記念館とも事業展開において連携を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」 「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に沿った市民の芸術・文化活動の促進・支援を展開する中で, 市民・団体の交流促進や地域資源の活用を図り, 調布のまちの魅力の向上, にぎわいの創出に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」 ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会への取組については, 庁内横断的な連携はもとより, 東京都, 組織委員会に加え, (公財)調布市文化・コミュニティ振興財団や調布市文化協会をはじめとする市民団体, 民間事業者など多様な主体との連携により, 芸術・文化のみならず幅広い分野での取組を展開し, 有形・無形のレガシー創出を図った。 東京2020大会に向け, 主に中学生・高校生を対象として, 観劇活動を通じた機運醸成を図ることを目的に, 調布市を拠点として全国的に巡演活動を展開しながら青少年向けの演劇を行う劇団芸優座の公演「昇らぬ朝日のあるものを～幻のオリンピック」を開催した。 東京2020大会に向け, 調布市文化協会との連携により, 東京五輪音頭-2020-地域練習会の実施や動画「東京五輪音頭-2020-調布バージョン」の作成などを通じて機運醸成を図った。 (公財)調布市文化・コミュニティ振興財団では, 2019年・2020年に向け, 財団独自の次世代継承のテーマである「100年後の君へ。」を基軸に, 深大寺とゆかりの深い能楽を様々な角度から取りあげる「調布能楽オトセイ」など beyond2020 プログラム認証事業を各種展開した。また, 廃材・端材を活用してアート作品をつくる「クリエイティブリユースでアート!」について, 令和2年度の展覧会に向け, 教育・高齢者施設において, アーティストとともに作品制作を行うワークショップを実施した。 ホストタウンであるサウジアラビア王国について, イスラム文化の理解と文化交流を図ることを目的に, アラビア語講座及びサウジアラビア文化展を開催した。 	

■連携テーマ4 「パラリンピックレガシーの創出」

・障害者のスポーツのみならず、芸術文化の発展につなげるため、市内の福祉作業所等で活動する方々のアート作品を展示する「パラアート展」を市内福祉団体や民間事業者と連携しながら開催した。

・令和2年を「パラリンピックを契機として共生社会の重要性を発信していく1年」と位置付け、様々な分野にわたる取組を展開していくため、市のキャッチフレーズとして「パラハートちょうふ2020 つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち」を定め、このキャッチフレーズを広く活用していくために作成したロゴの活用と併せ、パラアート展関連ワークショップにおいて制作したアートデザインの活用を広く呼びかけるとともに、PRグッズを作成した。

②調布のまちの魅力発信

・「バッハ・コレギウム・ジャパン」や桐朋学園大学等との連携による「調布国際音楽祭」の開催など、調布にゆかりのある芸術家や地域資源と連携協力した取組を推進した。

・2つの撮影所をはじめ市内に40社以上の映画・映像関連企業が集積する「映画のまち調布」ならではのつくり手にスポットを当てた「調布シネマフェスティバル」を平成30年度に引き続き開催した。

(19-2 芸術・文化施設の整備・運営)

・指定管理者との定期的な会議や日常的な情報共有を図り、利用者の立場に立ち、安全、安心かつ清潔で快適な施設を目指した運営を行い、令和元年度の利用者アンケートでは、文化施設3館の満足度は96.6%となった。

・施設整備については、文化会館たづくりでは、地下2階消火設備CO₂ボンベ交換などを実施し、グリーンホールでは、熱源システムの更新に向けた準備、せんがわ劇場では、ホール出入口の改修工事等を行った。

・施設におけるバリアフリーの推進について、文化会館たづくりで、トイレの洋式化を3箇所で開催したほか、グリーンホールで、大ホールのリハーサル室側の階段に手すりを設置するなどの改修を行った。

・グリーンホールの今後の更新を見据えた取組については、有識者と共に先進事例となる他自治体ホールの視察を行ったほか、これまでの検討状況等について施設利用団体等との情報共有・意見交換を実施するとともに、市の整備に関する考え方について、庁内横断的な情報共有・検討に取り組んだ。

①横断的連携による施策の推進

・台風19号への対応として、防災部門や指定管理者である（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団との連携のうえ、グリーンホール及び文化会館たづくりくすのきホールを避難所として開設した。

■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」

・ラグビーワールドカップ2019開催期間中、グリーンホール大ホール及び文化会館たづくり大会議場がファンゾーンの会場の一部となり、パブリックビューイングが行われるなど、大会成功に寄与した。

・2019・2020年に向け、文化会館たづくり1階エントランス壁面を「たづくりアスリートワンダーウォール！」としてラッピングし、機運醸成を図った。令和元年度は、ラグビーワールドカップ2019の開催前から期間中にラグビーの「団結力」、「突破力」、「勝利」を表現した墨絵イラストによるラッピングを実施した。

■連携テーマ4 「パラリンピックレガシーの創出」

・（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団では、ホール運営における共生社会の実現を目指すため、「パラ劇場」研修として、文化会館たづくりくすのきホールで音声ガイド、集団補聴、同行支援等の鑑賞サポートを可能な限り行うバリアフリー映画上映会を実施した。

②調布のまちの魅力発信

・文化会館たづくり、グリーンホール、せんがわ劇場、それぞれの特色や地域性を生かしつつ、3館の連携によるスケールメリットを生み出すなど、市内の芸術文化の一層の発展に向けた環境づくりに取り組んだ。

<令和元年度における施策の成果についての総括>

・「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に沿った市民の芸術・文化活動の促進・支援、ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会への取組について、多様な主体と連携しながら、様々な事業を展開する中で、産業、スポーツ、国際交流、教育、福祉など幅広い分野との連携や地域資源の活用を図りながら、各種取組を展開した。

・（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団では、平成31年3月に策定した10年間の財団基本計画の初年度として、これまで以上に事業・施設・組織の緊密な連携を図る中で、市民や地域と連携・協働しながら、各種事業を展開したほか、安全、安心かつ清潔で快適な施設を目指した運営を行い、利用者アンケートにおける文化施設3館の満足度は96.6%となった。

・せんがわ劇場の運営について、令和元年度から（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団が指定管理者となり、これまでの成果を大切に引継ぎつつ、文化会館たづくり、グリーンホールを合わせた3館の事業連携による効果的な広報など、芸術文化の一層の発展に向けた環境づくりに取り組んだ。

・障害者のスポーツのみならず、芸術文化の発展につなげるため、市内の福祉作業所等で活動する方々のアート作品を展示する「パラアート展」を市内福祉団体や民間事業者と連携しながら開催したほか、パラアート展関連ワークショップにおいて制作した作品を「パラハートちょうふ」の取組を広く発信していくアートデザインとして活用した。

・グリーンホールの今後の更新を見据えた取組については、市の整備に関する考え方について、庁内横断的な情報共有・検討を進める中で、有識者からの意見聴取に加え、施設利用団体等との情報共有・意見交換を実施した。

まちづくり指標 【☆：基本計画におけるまちづくり指標，◎：総合戦略における指標】		基準値 (基準年度)	単位	実績値 令和元年度	目標値 令和4年度
1	1年間で芸術文化を鑑賞，または自ら芸術文化活動を行った市民のうち，市内公共施設を利用した市民の割合【☆】	53.9 (H30)	%	51.1	60.0
2	文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場の施設利用率（ホール系・会議室系）（上段：ホール系，下段：会議室系）【☆】	84.9 78.1 (H29)	%	85.0 79.8	87.0 80.0
【備考】					

2 令和元年度の振り返り — 評価 (CHECK)

総合評価	A	<p>S：「顕著な取組成果が得られた。計画以上に目標を達成した。」</p> <p>A：「予定した取組成果が得られた。計画どおりに目標を達成した。」</p> <p>B：「一定程度の取組成果が得られた。概ね計画どおりに目標を達成した。」</p> <p>C：「予定した取組成果が得られなかった。目標達成にはやや至らなかった。」</p> <p>D：「取組成果が得られなかった。目標達成までには至らなかった。」</p>
理由	<p>・まちづくり指標について目標には至らなかったものの、「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に沿い，多様な主体と連携しながら各種事業を展開し，市民のだれもが芸術文化に親しめる機会に取り組むことができたため。</p> <p>・文化施設3館の指定管理者である（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団との連携により，文化施設の適切な維持保全，安全で利便性の高い施設運営に努めるなど，市が目指す施策の方向に向けて一定の成果を上げているため。</p>	

3 施策の方向 — (ACTION)

区分	今後の取組の方向 ★：重点プロジェクトに関連する取組，●：新規の取組，○：拡充の検討を要する取組
令和2年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」の周知・啓発，宣言に沿った市民の芸術・文化活動の促進・支援 ・東京2020大会を契機とした多様な主体との連携による文化プログラムの展開 ・パラアート展，パラハートちょうふの展開など，芸術・文化における共生社会の実現に向けた取組の推進 ・市内文化施設3館（たづくり，グリーンホール，せんがわ劇場）のそれぞれの館の特徴を生かした事業への取組，3館の連携による効果的な事業の推進，安全安心な施設運営 ○グリーンホールの今後の更新を見据えた市の整備に関する考え方の取りまとめ
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため，文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場の利用を停止（令和2年3月28日から5月31日まで） ・新型コロナウイルスの感染拡大防止を理由とした施設利用キャンセルについて，利用料金を還付（令和2年2月27日から当面の間） ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため，市及び関係団体の各種イベントの中止や延期，オンライン配信などの開催手法の変更による代替事業の検討 ・「調布市公共施設の開館・利用における感染拡大防止ガイドライン」に基づき，適切な感染拡大防止策を講じ，段階的に各施設の開館・利用及びイベントを再開（令和2年6月1日から） ・東京都の緊急事態措置に伴う外出自粛要請を受け，ハッシュタグ「#stayhomechofu」等をつけたメッセージ発信の呼びかけや，自宅で楽しめる各種動画コンテンツの配信
東京2020大会開催延期に伴う対応	<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020大会開催年として予定していた各種事業の中止・延期 ・東京2020大会延期に伴うパラアート・パラハートちょうふの今後の展開への対応
台風への対応を踏まえた災害対応	<ul style="list-style-type: none"> ★風水害時におけるグリーンホール及び文化会館たづくりの避難所としての体制整備（マニュアル作成，備蓄品の確保，人人体制） ★避難所開設準備等に向けた市内公共施設一斉の休館判断（基準・時期等の基本的な考え方）の検討
令和3年度以降の計画期間内の取組 (令和2年度から継続する取組を除く)	<ul style="list-style-type: none"> ★文化会館たづくりの非常用電源設備の実施設設計，工事 ○文化会館たづくりの特定天井改修，空調設備更新，外壁・屋上防水改修 ・せんがわ劇場の外壁・屋上防水改修

19 芸術・文化の振興

No.	事務事業名	重点プロジェクト事業	総合戦略	所管部署	事務事業の概要
1	芸術・文化事業の実施			文化生涯学習課	<p>文化会館たづくり，グリーンホール及びせんがわ劇場での音楽，演劇，映画などの鑑賞及び参加型の事業を実施する。</p> <p>各事業の実施に当たっては，「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」を踏まえ，3つの文化施設の更なる連携と（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団のノウハウを生かした効果的・効率的な事業展開を図る。</p> <p>※事業費については，文化会館たづくり，グリーンホール及びせんがわ劇場の施設管理を含む（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団への指定管理料と財団の自主事業に対する補助金を計上</p>
2	芸術・文化施設の維持・補修			文化生涯学習課	<p>文化会館たづくり（平成7年竣工）及びグリーンホール（昭和52年竣工）について，施設・設備等が老朽化している状況を踏まえて，計画的な改修を行う。</p> <p>せんがわ劇場（平成20年竣工）について，計画的な改修を行う。</p> <p>グリーンホールは，今後の更新を見据えた施設の整備に関する考え方を整理するとともに，利用団体等の意見も踏まえつつ，機能等の検討を行う（行革プラン2019に基づく取組）。</p>

19 芸術・文化の振興

※各事務事業の概要については、巻末の「⑦事務事業概要一覧」をご参照ください。

No.	事務事業名	重点プロジェクト事業	総合戦略	所管部署	R1 決算事業費(千円)	令和元年度の取組実績	実績評価	進捗状況・今後の取組の方向性									
								R1 取組実績			方向性						今後の取組内容 (新型コロナウイルス感染症の影響に関する内容は冒頭に◆印を記載しています)
								計画前倒し	計画どおり	計画遅れ	有効性改善	効率性改善	財政面改善	参加と協働改善	改善余地なし		
1	芸術・文化事業の実施			文化生涯学習課	1,191,522	(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団において音楽・映画・美術観賞等、各種芸術・文化事業を実施した。文化会館たづくり指定管理事業では、「たづくりアスリートワンダーウォール!3」、「調布能楽odyssey」など、ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会の機運醸成と、大会を契機とした日本の伝統文化の発信と継承を推進する事業を実施した。グリーンホール指定管理事業では、桐朋学園オーケストラによる演奏会やパッサ・コレギウム・ジャパンと協力した公開リハーサルなど地域資源を利用した事業を実施した。せんがわ劇場指定管理事業では、鑑賞・体験を通じた包括的な取組を推進した。その他、「映画のまち調布 シネマフェスティバル2020」など、地域コミュニティの活性化に加えて、観光やまちづくりなどと連携した多角的な事業展開を図った。これらの取組を通して市民における芸術・文化活動の活性化に寄与した。	◎		●		●	●					今後も引き続き、文化会館たづくり、グリーンホール及びせんがわ劇場の指定管理者である(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団と連携を図りつつ、様々な事業を通じて、市民が芸術・文化に触れる機会を提供し、芸術・文化活動の活性化につなげていく。また、財団との連携においては、各文化施設における市民の芸術・文化の振興や、各種取組における課題解決に向けて適宜情報共有を図り、円滑かつ効果的・効率的な事業展開を図る。◆新型コロナウイルス感染症に伴う施設の利用停止や一部事業の中止がある中で、調布国際音楽祭においては全公演をオンライン配信による開催に変更するなど、感染拡大防止の徹底や、取組の工夫により、状況に応じた適切かつ効果的・効率的な事業展開を図っていく。
2	芸術・文化施設の維持・補修			文化生涯学習課	152,950	指定管理者との定期的な会議や日常的な情報共有により、修繕等の優先度及び緊急性を精査した。複数の工事等を同時期に行うことで、より効果的・効率的な対応に努め、施設の貸出しへの影響を抑制することができた。主な内容としては、グリーンホール及び文化会館たづくりの特定天井改修に関する修正設計委託、文化会館たづくりの地下2階消火設備におけるCO。ボンベ交換、受変電設備補助継電器の改修工事等、せんがわ劇場のホール扉の改修工事を実施した。また、今後のグリーンホール整備における参考とするため、神奈川芸術劇場を視察したほか、有識者や利用団体等との意見交換を行いつつ、整備に関する考え方を検討した。	◎		●		●	●		●		指定管理者である(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団との連絡を密に取る中で情報を共有し、施設の維持管理における各種対応の優先度、緊急性を把握し、引き続き、施設利用への影響を抑制する観点も踏まえながら、より効果的・効率的で計画的な予防保全・維持保全に努めていく。グリーンホールについては、庁内横断的な連携を図る中で、現状の施設に関する課題等を整理し、今後の更新を見据えて、施設利用団体等との意見交換を継続しながら、整備に関する検討を進めていく。	
								0	2	0	2	2	0	1	0	計	
								0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	50.0	0.0	割合(%)	

当該施策に体系付けられている全ての事務事業については、巻末に掲載している参考資料「⑥事務事業一覧(施策体系順)」をご参照ください。